

製品名: 切断型カテプシン Z (L62) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08979**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	人間、猿
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	27kDa

抗原情報

遺伝子名	CTSZ
別名	CTSZ; Cathepsin Z; Cathepsin P; Cathepsin X
遺伝子 ID	1522.0
SwissProt ID	Q9UBR2
免疫原	抗血清はヒト CATZ 由来の合成ペプチドに対して作製された。AA 範囲: 43-92

背景

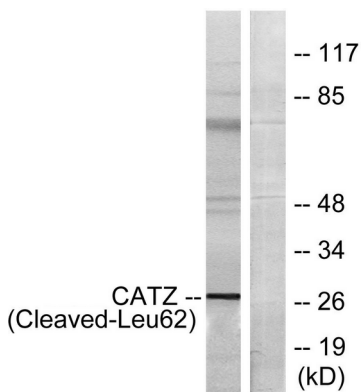
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、リソソームシステインプロテアーゼであり、ペプチダーゼ C1 ファミリーに属します。カルボキシモノペプチダーゼ活性とカルボキシジペプチダーゼ活性の両方を示します。コードされているタンパク質は、カテプ

シンXおよびカテプシンPとしても知られています。この遺伝子は、癌細胞株および原発性腫瘍において普遍的に発現しており、このファミリーの他のメンバーと同様に、腫瘍形成に関与している可能性があります。[RefSeq 提供、2008年10月],触媒活性: C末端アミノ酸残基を広い特異性で遊離させるが、C末端プロリンには作用しない。弱いエンドペプチダーゼ活性を示す。機能: カルボキシモノペプチダーゼ活性とカルボキシジペプチダーゼ活性の両方を示す。類似性: ペプチダーゼC1ファミリーに属する。組織特異性: 広く発現している。

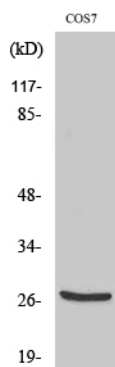
研究分野

リソソーム;

画像データ



エトポシド 25 μ M で1時間処理した COS7 細胞ライセートの CATZ (Cleaved-Leu62) 抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーン は合成ペプチドでブロッキングした。



切断型カテプシン Z (L62) ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析